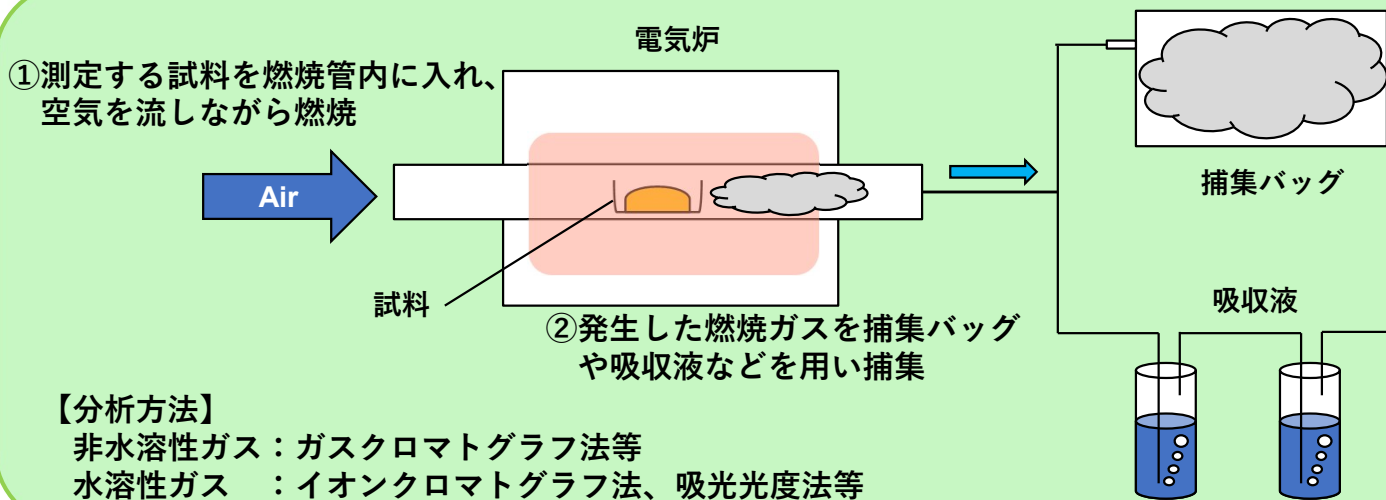


# 燃焼生成ガスの分析

- 製品や高分子材料の燃焼により発生する生成ガス进行分析
- 燃焼生成ガスの分析により、生成ガスの種類と量を明らかにし、火災時などの安全性や環境への影響を把握
- 発生するガスは、材質や酸素供給量などの燃焼条件により変化

## 【測定方法（JIS K 7392）】



## 【分析対象ガス】

CO (一酸化炭素)	CO <sub>2</sub> (二酸化炭素)	HCl (塩化水素)	SO <sub>x</sub> (硫黄酸化物)
NO <sub>x</sub> (窒素酸化物)	HCN (シアン化水素)	NH <sub>3</sub> (アンモニア)	HF (フッ化水素)
HBr (臭化水素)	PH <sub>3</sub> (ホスフィン)	H <sub>2</sub> S (硫化水素)	

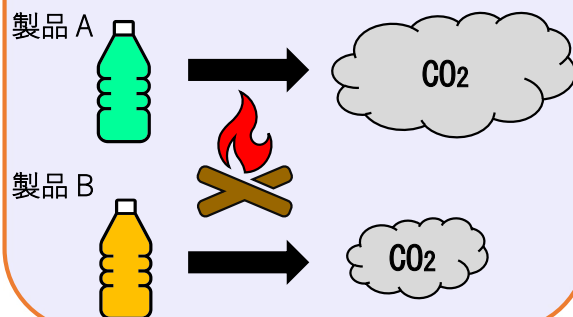
その他の成分についても、お気軽にお問い合わせください

## 【対応JIS】

- ◆ JIS K 7392 焼却炉などの完全燃焼を想定
  - ◆ JIS K 7217 火災などの不完全燃焼を想定
- 試験条件（測定温度等）のアレンジも可能

## <応用例>

昨今、カーボンニュートラル実現に向けて注目されているCO<sub>2</sub>  
 燃焼生成ガス分析でCO<sub>2</sub>量を測定することにより、製品を廃棄した際に排出されるCO<sub>2</sub>量を試算可能



# CERI

一般財団法人 化学物質評価研究機構

Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan

大阪事業所

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1丁目5番55号  
 TEL.06(6744)2022 FAX.06(6744)2052

URL <https://www.cerij.or.jp>

E-mail [osaka@ceri.jp](mailto:osaka@ceri.jp)